

ブロック名：免疫(ブロック①)

月 日	曜 日	時 限	授業タイトル	講義担当者		授業終了後に説明できる事項	事前学習
				氏名	所属		
12.3	火	I	日和見感染症	竹村 弘	微生物学	1. 続発性免疫不全の原因について説明できる。 2. 日和見感染症の医原性の危険因子について説明できる。 3. 菌交代症について説明できる。	事前配布したプリントの当該項目を予習する。
"	"	II	ヘルペスウイルス感染症と抗ウイルス薬	浅井 大輔	微生物学	1. ヘルペスウイルス科のウイルスの構造、ウイルス学的特徴、分類を説明できる。 2. ヘルペスウイルス感染における免疫応答と疾患を説明できる。 3. 抗ヘルペスウイルス薬の有用性を説明できる。	"
"	"	III	ウイルス感染免疫と抗レトロウイルス治療薬	"	"	1. ウイルス感染における宿主の免疫応答について説明できる。 2. HIV感染による生体反応とAIDS発症について説明できる。 3. 抗レトロウイルス薬の種類と作用について説明できる。	"
12.4	水	I	深在性真菌感染症	竹村 弘	微生物学	1. 免疫不全と深在性真菌症発症の関係について説明できる。 2. 深在性真菌感染症の種類と特徴を説明できる。 3. 深在性真菌感染症の診断と治療を説明できる。	"
"	"	II	細胞性免疫応答	鈴木 登	免疫学・ 病害動物学	1. 体液性免疫応答との違いを説明できる。 2. 細胞の種類と機能を説明できる。 3. 細胞傷害性機構を説明できる。	事前配布したプリントの当該項目を予習し、疑問点をリスト化する。あらかじめプリント内の課題に取り組む。
"	"	III	主要組織適合遺伝子複合体 (MHC)	木村 彰方(客)	免疫学・ 病害動物学	1. MHCの構造、存在、生体内での組織細胞・免疫細胞との関係を説明できる。 2. MHCと抗原の関係を説明できる。 3. MHCとT細胞の関係を説明できる。	"
12.5	木	I	体液性免疫応答	清水 潤	免疫学・ 病害動物学	1. 液性因子の構造と機能について説明できる。 2. 体液性免疫の誘導について説明できる。 3. 液性因子と疾患の関連について説明できる。	"
"	"	II	サイトカイン・ケモカイン	村山 正承	免疫学・ 病害動物学	1. 代表的なサイトカイン、モノカイン、リンホカイン、ケモカインの特徴を説明できる。 2. 多面性と重複性を説明できる。 3. サイトカインの分類を理解し、その機能の差異を説明できる。	"
"	"	III	ヘルパーT細胞のサブセット：Th1、Th2、Th17、Treg	中田 なぎさ	免疫学・ 病害動物学	1. ヘルパーT細胞サブセットの特徴と機能を説明できる。 2. ヘルパーT細胞サブセットへの分化化過程を説明できる。 3. ヘルパーT細胞サブセットと免疫疾患の関連を理解する。	"
12.6	金	I	自然免疫・補体	村山 正承	免疫学・ 病害動物学	1. 自然免疫と獲得免疫の違いを説明できる。 2. 補体の活性化機序を説明できる。 3. 補体活性化産物の作用を説明できる。	"
"	"	II	免疫トランス	"	"	1. T細胞の免疫トランスを説明できる。 2. B細胞の免疫トランスを説明できる。 3. 免疫寛容の維持機構とその破綻が引き起こす疾患を説明できる。	"
"	"	III	免疫学的診断法	中田 なぎさ	免疫学・ 病害動物学	1. 寄生虫症に対する宿主免疫応答、免疫学的診断上有用な応答を説明できる。 2. 自己免疫疾患、免疫不全症の発症機序を説明できる。 3. 免疫学的診断における手法、診断に必要な検査項目を説明できる。	"